

Change School Game

君は学校を変えられるか！？

このゲームは、プレイするみなさんにとって一番身近な学校で起こる問題を、6人の立場の異なる関係者(生徒・教師・校長・教育委員会・保護者・地域の人)が力を合わせて解決していくものです。戦争もふくめて、ほとんどの争いは互いの違いを理解し認め合うことが出来ないことから起きています。このカードゲームは、人は立場が異なれば違う視点・価値観を持っていることを理解し、互いの強みを生かして協力することで問題が解決できることを体験してもらえるように作りました。

ぜひ、当事者になって学校で起こる問題解決に楽しく挑戦してみてください。そして、ゲームをした後、何を学んだかを振り返り、実際にみなさんが自分達の学校をさらに良くするために行動されることを期待しています！

<カードの種類>

- 役割カード (6枚):学校に関わる立場を決める
- スキルカード(各役割に 9枚ずつ):各役割の人が問題解決に使える強み
- 問題カード(18枚):学校で起こる問題
- ポイントカード(各役割に 18枚ずつ):良い提案をした人がもらえる

<役の種類> 以下6つの学校に関わる人の役割+モデレーター(ゲームを進める人)

生徒、先生、校長、教育委員会、保護者、地域住民、モデレーター

<ポイント>

それぞれの役割になって問題の解決方法を提案し、他の人から「良いアイデア」に選ばれるとポイントをもらえ、最終的にポイントが一番多かった人が問題解決のリーダーとして優勝する仕組み。モデレーターは、みんなの議論が弾むように支援する。

<遊び方>

- ① 自分が希望する役割を選んで、ポイントカードを18枚もらう。
- ②じゃんけんして勝った人が問題カードを引く。
- ③問題カードを引いた人から時計周りに、自分のスキル(スキルカードから選ぶ)を使った問題の解決方法を提案する。自分が持っているスキルを言うだけではダメ。
- ④どの解決策が良かったかを選び、その提案をした人にポイントカードを渡す。
- ⑤この流れを繰り返し、最終的にポイントカードが一番多く持っている人が問題解決のリーダーとして勝利します。
- ⑥最後に、このゲームを通じて学んだことをみんなで振り返りましょう。

関係者が協力するために必要なこと、問題を解決するために大切なことなどを互いに話し合い、ゲームでの学んだことを、実際の学校や地域での生活に活かしましょう。